

高レベルの倫理観を身につけた グローバル・コンピテンシー技術者に！

一般社団法人 明専会会長 高原 正雄（機43）



皆さん、ご卒業おめでとうござい
す。長い学業生活を終えて、いよいよ
新しい道に踏み出すことになりま
す。これまでに培った高度な知識や
見識をしっかりと身に携え、そして
希望と大志を持って世の中に羽ばた
いてください。

また、今日まで見守って育ててこ
られたご両親やご家族の皆様のお喜
びはひとしおのことと拝察いたしま
す。心よりお祝いを申し上げます。

本学は、九州の炭鉱王・安川敬一
郎と教育界の巨星・山川健次郎両先
生の崇高なる理念の下、1909年

に創立された明治専門学校に始まり、
本年度創立109周年という長い歴史と
伝統を有する大学であります。『技
術に堪能なる士君子の養成』という
開学理念は、創立以来脈々と引き継
がれ、現在は『グローバル・コンピ

テンシー技術者の養成』という形と
なっており、厳格な実践教育がなされ
ております。その結果、皆さんは、課
題の発見能力と解決能力に優れた技
術者になるであろうと思われま
す。しかし、大切なことは、技術者とし
ての倫理観をしっかりと身につけ、

『自分のため・会社のため』とい
うことではなく、『世のため・人の
ため』に貢献する技術者を指すこ
とであります。もちろん、会社のた
めに貢献することは大切なことでは
ありませんが、それを一番の目標にお
いて活動していると、うっかりと技
術者倫理から外れた行動を取っても、
これは会社のためであるということ

で罪悪感すら起こらずに猛進してし
まうこととなります。気付いた時に
は、最近、国内外の多くの名門企業
で発生した不正事件のように取り返
しのつかない事態、最悪の場合は会
社を潰す羽目にもなります。特に、
技術者として高位の立場に就くはず
の母校卒業生たちは、技術者として
の適正な判断を誤らないように倫理
観をしっかりと身に付けていただきた
いと希望します。

さて、その母校卒業生からなる一
般社団法人明専会は、1915年に
第3回までの明専卒業生125名によっ
て『明専学士会』という名で発会し、
本年度で設立103周年を迎えます。『同
窓の友情を保ち、親睦を厚くして、
相互の連絡を図り、そして、後進の
誘掖に努める』を目的とした典型的
な同窓会組織であります。併せて
母校および学生の支援事業を大きな
柱としております。全国に49支部11
分会を有し、その絆と結束力は他に
例を見ないほど強いと言われており
ます。

100年もの歴史の中で、明専および
九州工大で切磋琢磨した卒業生は6

万人にのほりましたが、その中の多
くの先輩が国内のみならず世界の舞
台において大きな足跡を残し、『明
専』の名をさらに高めました。そし
て、事ある度に熱い母校愛と同窓の
絆で明専会に集い、惜しみなく母校
を支援してきました。その結果、母
校はますます素晴らしい人材を育成
して世の中に輩出することができて
います。こういった素晴らしい好循
環が九州工大と明専会の絆をさらに
強くしています。卒業のこの機に、
皆さんは「母校や明専会によって育
てていただいた」ということを肝に
銘じて、今後はその恩を母校にお返
しするため、積極的に明専会に集い、
惜しみなく母校を支援する側の人間
になっていただきたいと思えます。

最後になりますが、今まで育てて
いただいたご両親やご家族のご恩に
対しては、気持ちだけではなく形あ
るもので報いることが大切です。例
えば、最初のお給料は全額、心をこ
めてお母様に差し上げることが一番
の恩返しだと思います。

（いすゞ自動車(株)理事）